

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 2 日 (2021.12.2)

【公開番号】特開 2019-214074 (P2019-214074A)

【公開日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【年通号数】公開・登録公報 2019-051

【出願番号】特願 2019-132030 (P2019-132030)

【国際特許分類】

B 2 1 J 9/02 (2006.01)

B 6 0 B 35/02 (2006.01)

F 1 6 C 19/18 (2006.01)

F 1 6 C 19/38 (2006.01)

F 1 6 C 43/04 (2006.01)

B 2 1 K 1/05 (2006.01)

B 2 1 D 39/00 (2006.01)

【 F I 】

B 2 1 J 9/02 A

B 6 0 B 35/02 L

F 1 6 C 19/18

F 1 6 C 19/38

F 1 6 C 43/04

B 2 1 K 1/05

B 2 1 D 39/00 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 22 日 (2021.10.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハブ本体を支持することと、

内輪が取り付けられた前記ハブ本体をかしめ加工することと、

を含み、

前記かしめ加工は、

押型が揺動運動する状態で前記押型を前記ハブ本体に押し付けることと、

アダプタを介して前記ハブ本体の軸周りに外輪を動かすことと、

を含み、

前記アダプタは、

アダプタ本体と、

前記アダプタ本体に保持される少なくとも 1 つのブロックであり、前記アダプタ本体から軸方向に突出した部分が前記外輪のフランジに対して前記軸周りの方向の動力を伝達可能に係合される、前記少なくとも 1 つのブロックと、

を有する、

ハブユニット軸受の製造方法。

【請求項 2】

ユニット本体と内輪と外輪とを備える軸受ユニットの製造に用いられる揺動かしめ装置

であって、

前記ユニット本体を支持するベースと、

前記内輪が取り付けられた前記ユニット本体に対してかしめ運動する押型と、

それを介して前記ユニット本体の軸周りに前記外輪が動く、アダプタと、

を備え、

前記アダプタは、

アダプタ本体と、

前記アダプタ本体に保持される少なくとも1つのブロックであり、前記アダプタ本体から軸方向に突出した部分が前記外輪のフランジに対して前記軸周りの方向の動力を伝達可能に係合される、前記少なくとも1つのブロックと、

を有する、

揺動かしめ装置。

【請求項3】

前記ブロックの少なくとも一部が、樹脂材料からなる、

請求項2に記載の揺動かしめ装置。

【請求項4】

前記ブロックは、少なくとも一部が自転自在に、前記アダプタ本体に支持されている、

請求項2又は3に記載の揺動かしめ装置。

【請求項5】

前記ブロックの先端部に、転がり軸受が設けられている、請求項2～4のうちのいずれか1項に記載の揺動かしめ装置。

【請求項6】

前記転がり軸受が、合成樹脂により構成されている、請求項5に記載の揺動かしめ装置

。

【請求項7】

前記ブロックの先端部に、滑り軸受が設けられている、請求項2～4のうちのいずれか1項に記載の揺動かしめ装置。

【請求項8】

前記滑り軸受が、合成樹脂により構成されている、請求項7に記載の揺動かしめ装置。

【請求項9】

ハブユニット軸受を備える車両の製造方法であって、

前記ハブユニット軸受を、請求項1に記載のハブユニット軸受の製造方法により製造する、車両の製造方法。